



放水開始！町民の生命を守ります

～海峡62号の主な内容～



第1回定例会	P 2	消防本部からのお知らせ	P 6
令和5年度建設事業等計画	P 3	職員の異動	P 7
令和5年度予算の概要	P 4	各消防署の活動状況	P 8
衛生センターからのお知らせ	P 6	新採用職員の抱負	P 8



渡島西部広域事務組合議会 第1回定例会

令和5年2月27日、第1回定例会を開催し、管理者の行政報告の後、議案7件及び報告1件が原案のとおり可決・同意されました。

行政報告

消防関係について

(1) 職員の懲戒処分について

令和4年3月27日付けで福島消防署員の数名から、職場内におけるパワーハラスメント行為について消防本部へ通報があり、パワーハラスメント等調査委員会において内容を調査したところ、部下に対するパワーハラスメントが確認されたため、行為を行った職員に対して減給10分の1（3ヵ月）の懲戒処分を行いました。

今回の事案に対し、町民の生命・財産を守る消防組織として、全体の信用・信頼を失墜させてしまったことを心からお詫び申し上げ、このようなことが二度と起きないように、各消防署長には職場環境の改善を含め、公務員制度に対する教育・指導の徹底を指示しました。

(2) 火災の発生状況について

令和5年1月から2月にかけて、松前町で2件、知内町で1件の計3件の火災が発生しました。各消防署には、防災無線など火災予防広報や署員による管内巡視の徹底を指示しました。

また、2月21日に北海道電力(株)知内発電所内において、エレメント取替作業中に潤滑油が噴出し、近くのガス混合通風機内部の高温部に接触して出火しましたが、その場にいた従業員の初期消火により直ちに鎮火しました。



行政報告をする鳴海管理者

審議された議案内容

☆議案第1号 職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

☆議案第2号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

60歳としている職員の定年を令和5年4月1日から2年に1歳ずつ段階的に引上げ、令和13年度以降は65歳となります。また、地方公務員法の一部改正に伴い、関係する条例の引用条項を整理及び規定を追加しました。

☆議案第3号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

令和5年度から運用開始予定の潜水救助活動について、隊員が著しく危険、不快、不健康、困難な活動に従事することから、災害時及び訓練時の特殊勤務手当の種類に潜水手当を追加しました。

☆議案第4号 渡島西部衛生センター施設整備基金条例の一部を改正する条例

施設整備基金を運用するにあたり、基金残高が少なくなった場合を想定して、基金へ積立することができる財源に「構成町の負担金」を追加しました。



質問する又地信也議員



答弁する鍋谷前消防長



質問する佐藤孝男議員

☆議案第5号 積立金の処分の議決変更について

衛生センター施設整備基金充当事業が完了したことに伴い、積立金の処分の議決変更をしました。

☆議案第6号 令和4年度一般会計補正予算（第5号）

予算から、2,572万6千円を減額し、総額を19億8,384万1千円としました。
主な補正の内容は、入札による減額や実績精査によるものです。

☆議案第7号 令和5年度一般会計予算について

令和5年度の予算総額を15億9,403万7千円としました。
前年度と比べて、3億3,591万1千円の減額となりました。
歳出では、人件費と物件費が80.8%、建設事業費が5.3%、その他公債費等が13.9%となっております。
歳入では、構成町負担金が90.7%、し尿処理手数料等の手数料が6.6%、交付金等が2.7%となりました。

☆同意第1号 監査委員の選任について

本庄屋 誠氏（福島町）の監査委員の選任が同意されました。同氏は、当組合の監査委員を平成27年4月から令和5年3月までの8年間務めており、引き続き4年間監査委員をお願いしました。



本庄屋監査委員

◎令和5年度の建設事業等計画について

100万円以上の建設事業等は20件、事業予算は1億2,334万9千円となりました。
前年度と比較すると、件数は1件の減、事業予算は8,490万1千円の減となりました。

担当部署	内 容	予算額 (千円)
衛生センター	汚泥再生処理設備機械オーバーホール	14,988
	ごみ処理機械設備オーバーホール	23,546
	リサイクルプラザ破砕機電動機改修工事	12,782
	リサイクルプラザ埋設水道管修繕	1,124
松前消防署	災害対応ドローン購入（1機）	4,339
	防火服購入（11着）	4,768
	防火水槽補修工事（1基）	1,235
	消火栓更新工事（7基）	9,060
福島消防署	災害対応ドローン購入（1機）	4,339
	防火服購入（12着）	5,201
	高度救急シミュレーター購入（1台）	3,000
	管理監視制御装置用パソコン購入（1台）	4,250
知内消防署	水難救助潜水土装備品購入（4名分）	5,028
	災害対応ドローン購入（1機）	4,339
	防火服購入（6着）	2,601
	消防庁舎電気回線改修及び庁舎用発電機嵩上工事	3,800
	小型動力ポンプ付積載車購入（1台）	9,487
	消火栓更新工事（1基）	1,947
木古内消防署	災害対応ドローン購入（1機）	4,339
	防火服購入（8着）	3,176
計	20 件	123,349

令和5年度予算の概要

■歳入予算の状況

今年度の歳入は、松前消防署の大型事業が完了したことに伴い、構成町負担金は2億7,150万8千円減額となりました。

また、衛生センター整備事業数の減により積立金の取り崩しも3,087万8千円の減額など、前年度より3億3,591万1千円減額となりました。



(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	主 な 内 容
分担金及び負担金	1,446,202	構成町負担金
衛生負担金	427,558	
消防負担金	1,018,644	
使用料及び手数料	104,266	
し尿処理手数料	89,179	収集量16,200kl
浄化槽汚泥処理手数料	9,163	処理量1,870kl
ごみ処理手数料	4,399	搬入量830 t
消防手数料	1,525	知内火力発電所特定屋外タンク定期点検 審査手数料 外
道支出金	1,881	消防施設整備費交付金 木古内消防署事業財源
財産収入	3,435	
利子及び配当金	13	基金積立金利子
物品売払収入	3,422	アルミプレス等売却
繰入金	12,782	衛生センター施設整備基金繰入金 破砕機電動機改修工事財源
繰越金	1	前年度繰越金
諸収入	8,470	
組合預金利子	2	預金利子
雑入	8,468	北海道派遣職員給与費負担金収入 外
組合債	17,000	消防債 緊急防災・減災事業債
合 計	1,594,037	

■構成町負担金内訳は、次のとおりです。

(単位：千円)

構 成 町	衛生負担金	消防負担金	負担金計	前年比増減
松 前 町	146,930	311,464	458,394	△ 236,365
福 島 町	124,358	237,671	362,029	△ 36,398
知 内 町	57,366	248,425	305,791	△ 4,640
木 古 内 町	98,904	221,084	319,988	5,895
合 計	427,558	1,018,644	1,446,202	△ 271,508

■歳出予算の状況

今年度の歳出は、衛生関係では衛生センター施設改修工事等の事業費減により1,286万6千円減額、また消防関係の新規事業として4消防署に1機ずつ配備する災害用ドローン購入費1,735万6千円増額と今年度から年次計画により整備する防火服は4署合計で1,574万円増額となりますが、松前消防署の大型事業完了したため、前年度より3億3,591万1千円減額となりました。

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	主 な 内 容
事務局	170,085	
議会費	872	定例会3回、臨時会3回
事務局費	37,723	職員3人、会計年度任用職員1人
監査委員費	674	
公債費 元金	108,511	H22～R 2 施設整備債等の元金返済
〃 利子	3,128	H22～R 4 施設整備債等の利子返済
前年度会計剰余還付金	1	
衛生センター施設整備基金積立金	17,176	木古内町負担金、浄化槽汚泥処理手数料等積立
予備費	2,000	
衛生センター	411,573	
し尿処理費	284,801	職員3人、会計年度任用職員1人、し尿収集業務委託
ごみ再生処理費	101,093	職員1人、破碎機電動機改修工事
最終処分場処理費	25,679	浸出水処理施設維持管理委託
消防本部	45,319	職員4人、消防救急デジタル無線保守委託
松前消防署	304,924	
松前消防署費	273,423	職員33人、災害対応ドローン
松前消防団費	18,021	団員数114人
松前施設費	13,480	消火栓更新工事
福島消防署	221,539	
福島消防署費	199,289	職員23人、災害対応ドローン
福島消防団費	12,405	団員数67人
福島施設費	9,845	管理監視制御装置パソコン
知内消防署	236,055	
知内消防署費	209,269	職員23人、災害対応ドローン
知内消防団費	10,392	団員数66人
知内施設費	16,394	小型動力ポンプ付積載車
木古内消防署	204,542	
木古内消防署費	193,316	職員23人、災害対応ドローン
木古内消防団費	10,519	団員数63人
木古内施設費	707	消火栓修繕
合 計	1,594,037	

■令和5年4月1日現在の職員数について

職員数は115人で、前年度と比べ2人減となりました。

(単位：人)

区 分	事務局	衛 生 センター	消 防					合 計
			本 部	松 前	福 島	知 内	木古内	
5 年 度	4	5	4	33	23	23	23	115
4 年 度	4	5	3	34	24	23	24	117

※事務局・衛生センターは、会計年度任用職員各1名を含む

衛生センターからのお知らせ



◆リサイクルプラザの視察について◆

令和5年2月15日に木古内町の社会福祉協議会・民生委員協議会・町内会連合会の方々がリサイクルプラザを視察されました。

各町で分別収集されたペットボトルや空き缶などが、どのように処理をしてリサイクルされていくのかなどの説明を熱心に聞いていただいた後、ゴミの分別やペットボトルの処理方法等について、たくさんの質問があり、参加者はゴミ処理に対する理解が深まったと感じています。

こういった活動が少しでもゴミの減量化やリサイクルの促進に繋がればと思っています。

◆トイレトーパー以外のものは流さないで下さい◆

し尿の汲み取りを行う際、バキューム車のホースが詰まる事案が多数発生しており、汲み取り業者さんが大変困っております。

ホースが詰まる原因として、便槽の中に「注入軟膏」「トイレの掃除用シート」「ストッキング」「生理用品」などの燃えるゴミとして廃棄するものが捨てられています。

特に「流せるトイレクリーナー」は、下水道でしか水に溶けません。

水に溶けないものが便槽の中にあると、汲み取りの際、バキューム車が故障する原因となりますので、「トイレトーパー以外のもの」は必ず「燃えるゴミ」としてゴミに出して下さい。



◆し尿の汲取りの際の注意点について◆

汲取り作業をしている際、バキューム車のホースの周りに『花のプランターや鉢植え』などがあると、ホースが不意に激しく動き壊してしまう危険があります。

汲取口の近くやホースを伸ばしている周辺には、物を置かないようにご協力をお願いします。



消防本部からのお知らせ



一緒に災害から守ってくれる
消防団員を募集しています

あなたも消防団員として私達と一緒に活動しませんか？



●消防団員ってどんな人で、 何をしているの？

- ・消防団員は、消防署員と共に火災など災害への対応、火災予防の呼びかけや警戒活動を行います。
- ・常勤の消防署員とは違い、日頃自分の仕事に専念し、災害が発生した際に、その対応に当たります。
- ・災害対応のための訓練や資機材の整備点検などを行い、災害活動力を高めています。
- ・消防団員の身分は、非常勤特別職の地方公務員となります。

●消防団員の処遇はどうなっているの？

- ・報酬として消防団活動の労苦に対して、年1回支払われます。
- ・災害や訓練等で出動した場合にも、内容に応じて報酬が支払われます。
- ・活動中に負傷した場合は、公務災害として療養費用などが補償されます。
- ・活動に必要な活動服や制服などが貸与されます。
- ・消防団員として5年以上勤務して退団した場合、その者の階級及び勤務年数に応じて、退職報償金が支払われます。

●誰でも消防団に入れるの？

- ・町内在住の18歳以上50歳未満の健康な男女であれば入れます。

消防団について詳しく知りたい方は、お住まいの各消防署へお気軽にご連絡ください。

- 松前消防署 0139-42-2119
- 知内消防署 01392-5-5064

- 福島消防署 0139-47-2119
- 木古内消防署 01392-2-2058

異動のお知らせ

職員

令和5年4月1日付

事務局



・深山 肇
会計管理者

・梅岡 忍
次長兼総務係長兼財務係長

衛生センター



・堺 泰幸
衛生センター長

(木古内町より派遣)

消防本部



・伊藤 則幸
消防長

(木古内消防署より異動)

・大嶋 茂

消防課主幹兼管理係長

・大橋 浩

消防課消防指導係長

・吉田 剛

消防課管理係主任兼
消防指導係主任

(松前消防署より異動)

松前消防署



・小川 隆広
松前消防署長

・佐々木 友彦

管理課長

・疋田 光輝

管理課主幹

・渡辺 努

警防課主幹

・川村 祐司

管理課管理係長

・藤村 規行

管理課指導係長

・高山 亨

江良出張所係長

・松本 晃一

警防課救急通信係主査

・薮田 翔平

警防課警防係主任

・川和田 章史

江良出張所主任

・川村 健太

江良出張所主任

・吉江 勝哉

警防課救急通信係

福島消防署

・越後谷 圭司

管理課長

・住吉 竜大

警防課長

・阿部 達也

管理課指導係長

・木村 祐樹

警防課警防係長

・菊地 拓也

管理課指導係主査

知内消防署

・川 渕 正昭

管理課管理係長

・櫻井 雅之

管理課指導係長

・工藤 智毅

管理課特殊災害係長

・西村 淳

警防課警防係長

・船板 克志

警防課救急通信係長

・伊吹 翼

警防課救急通信係主任

木古内消防署



・石塚 睦
木古内消防署長

・岩上 健作

管理課長

・吉澤 崇

警防課長

・高橋 法人

警防課主幹

・松井 光也

警防課警防係長

・太田 竜刀

警防課救急通信係主査

・佐藤 周

管理課管理係

【新採用職員】

令和5年4月1日付

事務局

・鳴海 沙恵

総務係兼財務係主事

松前消防署

・鹿角 歩

警防課警防係

・柿本 尅太

警防課警防係

木古内消防署

・堀川 歩夢

警防課警防係

派遣帰任

令和5年3月31日付

松前町へ

・丹羽 一暢
(衛生センター長)

福島町へ

・舘政 ななみ
(事務局財務係長)

定年退職

令和5年3月31日付

・鍋谷 悟
(消防長)

・可香 靖
(松前消防署長)



◆ 福島消防署 ◆

消防ポンプ自動車 (CD-I)
令和5年2月22日納車



各消防署の活動状況



火災想定訓練 (4/20)

松前消防署



吉岡分団消防ポンプ自動車取扱訓練 (8/5)

福島消防署



消防団教育訓練 (3/13)

知内消防署



新規採用者ホース延長訓練 (4/10)

木古内消防署



事務局

なるみ さえ
鳴海 沙恵 (27歳)

(福島町出身)

長年の事務経験を活かし、構成町の消防・衛生部門を支える職員の方々のお役に立てよう頑張ります。また、消防・衛生部門が地域の皆さまにとってより良い環境となるよう努力してまいります。



松前消防署

かきもと いっ た
柿本 壱太 (20歳)

(函館市出身)

松前町の事を一つでも多く学び、地域の方々に貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひします。

令和5年4月1日付けで採用された職員を紹介します

新採用職員
の抱負



松前消防署

か つ の あゆむ
鹿角 歩 (22歳)

(函館市出身)

小学生からの夢である消防士になれて、とても嬉しい気持ちです。これからは松前町民の皆様の安心と安全を守るように尽力したいと思います。よろしくお願ひいたします。



木古内消防署

ほりかわ あゆむ
堀川 歩夢 (19歳)

(函館市出身)

今はまだわからない事が多いので、必要な知識や技術を身に着け一日でも早く地域の方々に貢献できるように努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



海峡 62号

令和5年5月発行

発行人 渡島西部広域事務組合
(松前町・福島町・知内町・木古内町)

〒049-1331
北海道松前郡福島町字三岳45-1
TEL 0139-47-3511 FAX 0139-47-2496

印刷 阿部綜合印刷株式会社